

よこつる通信

2021年 Vol.03

2021.8.1 発行

発行責任者

地域医療連携センター

西尾/池住

電話 045-371-2511

<https://tsuruqaminehospital.com>

新任医師よりご挨拶

4月より泌尿器科、消化器・一般外科に入職の新任医師よりご挨拶をさせていただきます。

泌尿器科 加納医師よりご挨拶

この度、泌尿器科初代常勤医として横浜鶴ヶ峰病院に赴任しました、加納と申します。

私は1994年に東京医科歯科大学を卒業し、これまで病床数1000床を超える大学病院から200床の市中病院まで様々な規模の病院で診療に携わって参りました。それらの病院でロボット支援手術システム「ダヴィンチ」を用いた最先端の手術から慢

性疾患の前立腺肥大症や過活動膀胱に対する外来薬物療法に至るまで、様々な経験を積ませて頂きました。これまでの経験を活かして横浜鶴ヶ峰病院泌尿器科の立ち上げに携わる機会を頂きましたことを嬉しく思います。

泌尿器科の診療は悪性腫瘍、排尿障害、尿路感染症、尿路結石など多岐に渡る領域です。一般の方は勿論のこと、医療従事者ですら馴染みが少ない場合もあり、不安を抱えやすい分野になります。一部当科では扱わない疾患（内科的な腎臓病、皮膚疾患や一部の性病など）もありますが、血尿・頻尿・排尿困難など、おしっこのことでお困りのことがありましたら遠慮なく当科を受診して下さい。当院で行えない治療が必要な方に対しては、他施設と連携して治療を進めて参ります。

泌尿器科は高齢者の疾患が多いことも特徴です。旭区は横浜市の中でも特に高齢者の多い地区であると伺っております。泌尿器科診療を通じてこちらの地域に貢献できればと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

消化器・一般外科 大饗医師よりご挨拶

はじめまして。この度、横浜鶴ヶ峰病院に勤務することになりました、大饗（おおあえ）です。私は2015年に藤田保健衛生大学医学部を卒業し、2017年に昭和大学横浜市北部病院消化器センターに入局、以降は消化器外科を専門に、様々な消化器疾患の治療に携わってきました。主に胃癌・大腸癌などの消化管の手術や、胆嚢摘出、鼠径ヘルニア、腸閉塞の手術などを行ってきました。

横浜鶴ヶ峰病院では、手術の他に、胃カメラや大腸カメラなどの内視鏡検査も担当しており、疾患の早期発見に努めております。1人の患者さまの検査から治療まで、一連の医療に携われることにやりがいを感じ、日々精進しております。また、女性である特徴を活かして、細かな気遣いやコミュニケーションで患者さまの抱える不安を少しでも取り除けるよう心掛けております。何か気になることがあればお気軽にご相談ください。



「アネックス地域医療」 ただいま開設準備中です



病院を左手に見て



道路沿いから



病院側から

11月（予定）の開設にあたり

旭区では超高齢社会が現実化しつつ、通院が困難な高齢者も増加の一途を辿る中で、当院は今日まで、地域住民の健康や暮らしを支えるよう努めてまいりました。今後はこれらに加え、地域連携室と協働して在宅医療チーム「アネックス地域医療」を編成し、「最適かつ包括的な医療・福祉介護を提供する」を理念に、訪問診療を中心的な活動としながら、訪問看護・訪問介護・居宅介護支援に取り組んでまいります。よろしくお願い致します。

医療企画部 課長 長田



玄関入口

昭和大学藤が丘病院・昭和大学藤が丘リハビリテーション病院の地域連携医療協力機関登録をいたしました。

この度、令和3年5月17日に昭和大学藤が丘病院・昭和大学藤が丘リハビリテーションの地域連携医療協力機関登録をいたしました。当院と両医療機関との更なる連携強化を図り、地域の皆さまにも最適な医療提供が行えるよう地域医療連携室として幅広く取り組んで参ります。

編集後記／池住

5月頃から病院のまわりに“ツバメ”が飛来していたのは知っていましたが、今年は正面玄関横に患者さまの迷惑にならない様ひっそりと巣作りが始まりました。先月には子供が3羽?かな?生まれ、現在は順調に巣立つ準備をしています。

ツバメは春から夏にかけてやって来る渡り鳥で皆さんご存知のように「商売繁盛」の象徴として大切にされてきました。当院では永くコロナで苦しめられた職員にとっても、心を穏やかにしてくれる存在となっています。一日も早く終息したらいいな。

病院の小さな出来事

